

救急搬送困難 5204件

消防庁 11週ぶり減少も高水準

総務省消防庁は1日、救急患者の搬送先がすぐに決まらない「救急搬送困難事案」が2月21～27日の1週間で5204件発生したと発表しました。前週より860件少なく、昨年12月第2週以来11週ぶりに減少に転じました。ただ、過去5番

目に多く、依然として高水準にあります。全体の件数のうち、新型コロナウイルスに感染した疑いがあるケースは1614件（前週比418件減）でした。豪翼株「オミクロン株」の感染拡大による医療機関の逼迫（ひっぱく）が引き続き影響

国内感染7万2646人

東京は1万2693人

国内では2日、新た

に7万2646人の新規コロナウイルス感染が確認され、前週の水曜日と比べ約7700人減少しました。新規感染者は富山県（628人）で過去最多を更新しました。全国の死

者は計2335人、重症者は前日から4人減り1452人となりました。

東京都では1万2693人の感染が判明。前週の水曜日と比べ1874人減りました。新規感染者の直近1週間平均は1万1045人で前週比81・2%となりました。

しているとみられます。消防庁は、医療機関への受け入れ照会回数が4回以上で、救急隊が現場に到着してから搬送開始までに30分以上かかったケースを困難事案と定義します。